

わかめ・昆布漁の再開に向け仮設施設を整備 ～ 『田老町漁協わかめ工場・漁業用作業所』 ～

【 岩手県宮古市田老地区 】

名称：田老町漁業協同組合仮設わかめ工場及び漁業用作業所
所在地：岩手県宮古市田老字川向198番及び177番13他
種別：仮設工場・事務所、漁業用作業所
延床面積：829㎡(仮設工場)、2,381㎡(作業所)
入居者：田老町漁業協同組合
区画数：6区画(仮設工場)、90区画(作業所)
建物構造：軽量鉄骨造1階建て2棟及び軽量鉄骨造2階建て1棟(仮設工場)
 軽量鉄骨造1階建て16棟(作業所)
事業開始：平成23年12月12日
完成：平成24年3月15日
供用開始：平成24年3月15日

田老町漁協は田老・真崎海岸周辺のわかめ漁において「真崎わかめ」という独自のブランドを築き、大手スーパーの流通経路にも乗り消費者から高い支持を得ていた。

わかめの収穫は例年3月初旬から始まるが、震災の津波によって養殖施設、加工場、漁具を流失した。

同漁協と漁業者は翌年3月の漁再開を目指して、わかめの加工場の整備を検討し、当初予定した廃校となった小学校の建物では加工場としては不適と判断されたため、中小機構に仮設施設整備を要望した。工場部分は平成24年3月15日に完成し、収穫したわかめの加工開始に間に合うことができた。

また、昆布やうに、あわび、近海魚等の漁再開のための作業所が同じ田老漁港に整備され、約200の漁業者が利用している。

